

# 地球の弁証法論理

はじめに: 目的と手段

02

1. 宇宙人地球人の生きる前提

03

2. 従来検討: 地球人の生きる要素

06

3. 検討: 地球人の全体モデル

08

4. 検討: 地球人の生きる空間時間構造

09

まとめと課題

10

あり得る宇宙人の世界観、論理の前提

11

謝辞

12

高原 利生 takahara-t@m.ieice.org 2016.03.16

[http://www.geocities.jp/takahara\\_t\\_ieice/](http://www.geocities.jp/takahara_t_ieice/)

# はじめに: 目的と手段

人類の生きる目的

価値実現

手段

その1: 矛盾として解く



矛盾は運動の構造。機能は両立か差異解消。  
運動を現実化するのは**エネルギー**

その2: 必要な**エネルギー**を確保し最小**エネルギー**で実現

# 1. 宇宙人の生きる前提

外界

- ・星の属性(公転, 自転周期, 重力等)
- ・星の**利用可能エネルギー**

主体

- ・宇宙人の生物的属性、**食料**
- ・**個, 集団?**・**無性生殖, 有性生殖?** 進化?
- ・変更と運用に要する**エネルギー**

外界との媒介

- ・態度, **価値**, 世界観、技術, 制度の有無  
**物々交換制度が成立したか?**

意図的に事実を変更できる生命に限定?

# 1. 地球人の生きる前提(1/2)

外界1

・地球の物理的前提:地球,月,太陽の属性,運動。多様な地球環境。酸素濃度

外界2

・地球のエネルギー  
人間の歴史も、常に**エネルギー**が主導  
**食料は太陽エネルギー**  
**今のエネルギー問題**

人間の  
生物的  
属性

・人間の感覚器官,知覚の範囲,行動器官,  
行動範囲,人間の大きさ:全て太陽に規定されている  
・**有性生殖** ・**進化論のメカニズム有**  
・**変更と運用に要するエネルギー**

# 1. 地球人の生きる前提(2/2)

態度、価値、  
世界観 \*

\* : 価値、態度、粒度、  
方法を規定する事実  
の歴史と未来像

農業革命と産業革命の世界観

価値 = 生命の種の存続 - 生命の個体の  
生 - (個体の属性 =) 個体間、他の対象と  
の関係, 自由と愛の系列

技術、制度、科  
学、芸術

(この四つが、人の、世界の認識と働きか  
けを媒介する)(経済制度は農業革命後の  
物々交換が最初)

[THPJ201501]

## 2. 従来検討:地球人の生きる要素 最小単位を最小概念で実現

基本概念	説明
オブジェクト	=存在、関係 事実から <b>粒度</b> で特定された情報
粒度	=空間時間範囲、属性 <b>粒度(の決まった粒)間の関係が論理</b>
網羅	<b>粒度と網羅は矛盾、同時決定される</b>

## 2. 従来検討:地球人の生きる要素

### (その説明)矛盾とその運用

最小概念から矛盾を作る(説明<sub>[THPJ201501]</sub>略)

矛盾:運動の構造 

項が二値→  
差異解消矛盾

- ・片項または両項の量的変化
- ・さらにそれが量質転化

項が二属性→  
両立矛盾

- ・両立の実現形態を示す
- ・片項、両項の質的变化
- ・質的变化を起こさないまま両項が双方向入れ子によりともよくなる**一体型矛盾**

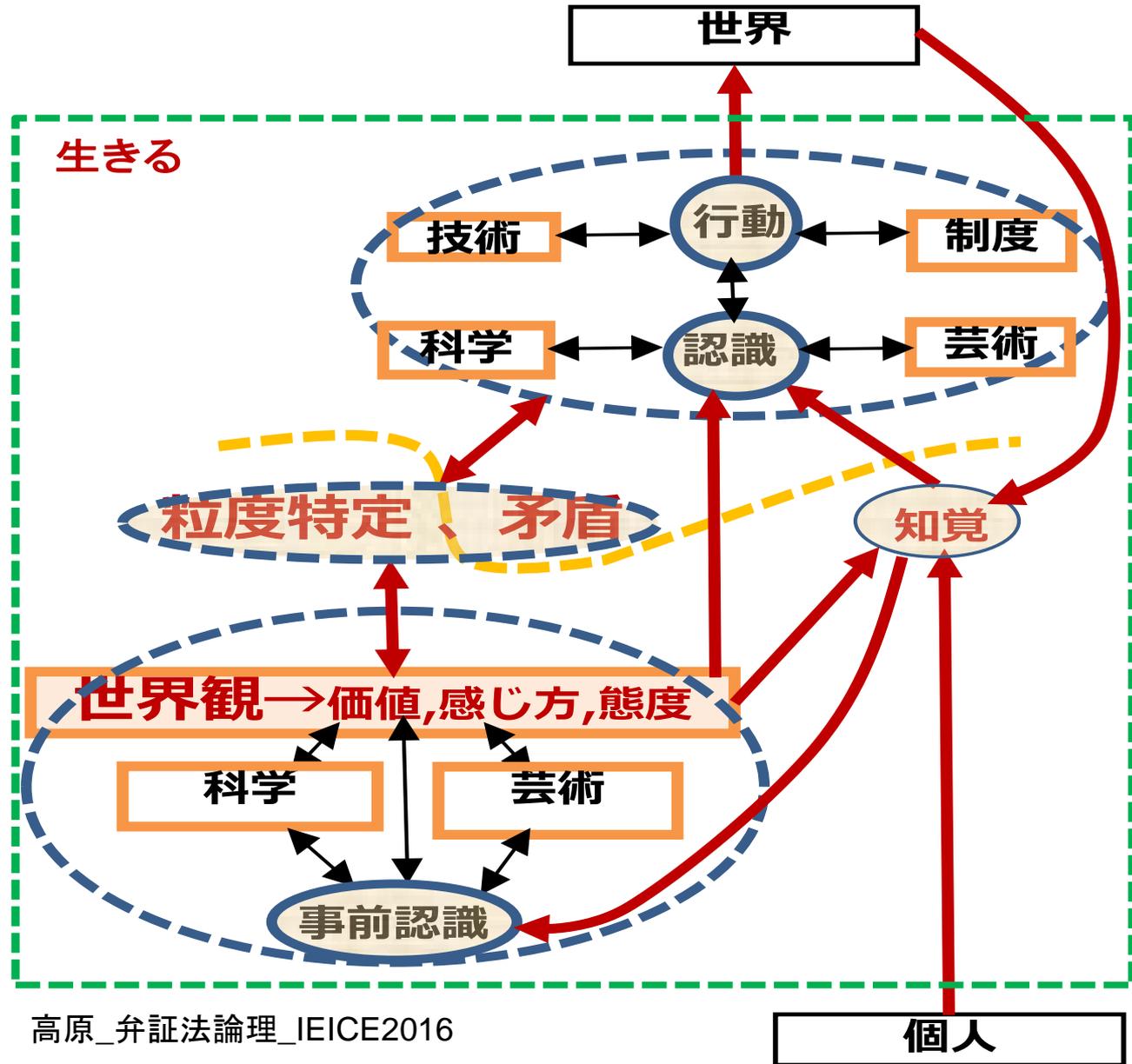
認識は事実の矛盾を解くこと、  
変更は解の矛盾を解き実現すること。

# 3. 検討:地球人の全体モデル

前提のもとでの地球人近似モデル:

粒度特定、矛盾が弁証法論理の要素で、全ての運動(態度、思考、議論、行動、技術など)に適用される

黄色い破線の下は通常、意識されない



## 4. 検討:地球人の生きる空間時間構造 時間構造(の唯一)、地球人の世界観仮説

人間は、得られるエネルギーの限度内で、最小エネルギーで価値を最大にする方法と世界観を求めてきた。人類の歴史の最近の数千年で二度、大きく世界観が変わった。

農業革命の  
世界観

太陽エネルギー利用。対象と一体的に生きる世界観

産業革命の  
世界観

化石エネルギー利用。対象化のための世界観とエネルギー最小の方法

求める世界  
観

一体化と対象化を統一し新しい価値を作る活動が国を超え宇宙に

# まとめと残った課題2: 今後の課題

1. エネルギー問題
  2. 一体化と対象化を統一する世界観  
一体型矛盾: 両項が「関係」「運動」、入れ子
- 1.2. の解決が条件になり合い全体を解決すべき:  
未解決

# あり得るX星人の世界観、論理の前提例

	地球	X星	Y星
利用エネルギー	太陽エネルギーとそれを基にした化石エネルギー、初歩的原子力	自然エネルギー	原子力
食料	太陽エネルギーを基にした他生命 (植物も動物も)	他生命	人工食料
物々交換	成立	ない	ない
生命	有性生殖、個が独立	集団、有性生殖	一生命 遺伝子操作
価値	種の存続、個の生、他との関係(自由、愛)	自由	自由
媒介する文化	科学、芸術 技術、制度	科学、 技術	科学、 技術

# 謝辞

常に激励、ご鞭撻をいただいている  
大阪学院大学中川徹名誉教授、  
有益なコメントをいただき議論をしていただいた  
Ellen Domb博士、  
に厚く感謝します。

中川先生は「高原利生論文集」をご自分のホーム  
ページに作って下さいました